

令和7年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻したりすることを目的として、男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、再発や転移を経験した患者のためのサポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして国立がん研究センター東病院の協力を得た千葉サポートグループ／大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループ／山梨県立大学の協力を得た山梨サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間164(昨年度比+1)回開催し、延べ693(昨年度比+32)人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。このほか、Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を毎月2回、年間19(昨年度比±0)回開催し、延べ20(昨年度比-13)人に提供した。

(イ) とわの会

令和7年10月18日(土)に事務所において、サポート事業に参加し、その後亡くなった患者の遺族に対するプログラムとして開催し、11人(昨年度比+8人)が参加した。

(ウ) 就労相談事業

がん治療と就労の両立に向けたがん患者向けの就労支援として令和5年度より開催している。対面／オンラインで7回(昨年度比+3回)の相談に当たった。

(エ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族2人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①ヨガ療法講座を月2回、計21回(昨年度比+6)開催、延べ149人(昨年度比+41)が参加、②アロマセラピー講座を月1回、計10回(昨年度比+1)開催、延べ39人(昨年度比+17)が参加、③自律訓練法講座を月2回、計9回(昨年度比±0)開催、延べ10人(昨年度比±0)が参加、④音楽療法講座(合唱団いきのちから)を月2回、計24回(昨年度比±0)開催、延べ353人(昨年度比+20)が参加、⑤体操講座を東京で計12回(昨年度比+8)、令和7年度から新たに導入した千葉で計2回開催し、延べ52人(昨年度比+39)が参加、⑥令和7年度から新たに導入した栄養教室を千葉で計1回開催し、3人が参加、6種の講座合計79(昨年度比+18)回開催、延べ606(昨年度比+120)人のがん患者及び家族に対し提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2025

日本対がん協会が主催し、がん患者・家族のために支援情報を提供するイベント「ジャパンキャンサーサバイバーズデイ 2025（令和7年6月3日（日）、於：国立がんセンター築地キャンパス）」にブース出展し、広く市民に対するがん啓発を行った。

(イ) きずな音楽祭 with 令和7年度豊島区がん対策推進講演会

豊島区と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和7年度豊島区がん対策推進講演会」とがんサポートコミュニティー主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート」は、合唱団いきのちからの他、東京都立大学グリークラブ、ゆきわりそうグループ社会福祉法人地球郷・私たちは心で歌う合唱団、東京学芸大学附属竹早中学校合唱部が参加、がん患者・障がい者・大学生・中学生と世代や疾患を超えた「きずな音楽祭」として発展、令和7年12月21日（月）に南大塚ホール（東京）にて開催、240(昨年度比+123)人が参加した。令和7年度豊島区がん対策推進講演会では

を講師に「がん予防—AYA世代に向けて」をテーマに中学生や大学生に向けてがん予防啓発、を講師に「死を語ろう、より良く生きるために」をテーマに人生会議(ACP)普及を目的に講演した。

(ウ) ACP 普及のための死生学教育事業

令和7年度港区 NPO 助成事業を受託し、港区在住・在勤・在学の市民を対象に「いのちと向き合う4つの扉～医療・仏教・哲学・相続から死生を学ぶ、これからのわたしの生き方」をテーマに4回シリーズで実施、計27人が参加した。①2025年10月18日（土）に愛宕区民協働スペース（東京）で「医療」について

を講師にお話いただき8人が参加した。②2025年10月21日（火）に梅上山光明寺（東京）で「仏教」についてを講師にお話いただき7人が参加した。③2025年12月20日（土）に愛宕区民協働スペース（東京）で「哲学」について

を講師にお話いただき7人が参加した。④2026年1月24日（土）に愛宕区民協働スペース（東京）で「相続」についてを講師にお話いただき5人が参加した。

(エ) 教育研修事業

将来、サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、令和7年11月15日（土）にL stay & grow 南砂町（東京）で実施され、19(昨年度比+8)人が参加した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに寄付するチャリティマラソンとして令和8年2月22日（日）に大阪マラソン2026が開催され、チャリティランナー海外から22人／国内から14人が参加した。2月20日（金）～21日（土）にインテックス大阪で開催された大阪マラソン EXPO2026では、ランナー3万4,000人、一般来場者1万2,000人、計4万6,000人に対して「がんにならない、が

んになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動を実施した。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。17回(昨年度比-2)開催し、18組(昨年度比-6)が参加した。

(キ) ホームページ・SNS によるイベント等告知・活動報告

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために、ホームページ・SNS を活用したイベント告知・活動報告を行った（ホームページにおけるお知らせ掲載回数：年 62 回（昨年度比+1））。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者・市民参画：がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2025

日本対がん協会との共催、厚生労働省・東京都の後援で、患者・市民参画に資する人材を育成するための研修「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2025(令和 7 年 11 月 15 日(土)～16 日(日)、於：L stay & grow 南砂町)」を開催した。がん患者・支援者・医療者・市民などに広く参加を募り、がん患者向けの食事、治療と仕事、治療とお金、緩和ケア、薬物療法、リハビリ、ピアサポート、第 4 期がん対策推進基本計画など、さまざまな角度で 14 の講座を提供し、201(昨年度比-22)人が参加した。

(イ) 医療情報提供

①国立がん研究センター研究開発費「がんサバイバーシップガイドラインの提言と普及・利活用に関する研究」班 [] に [] が関わり、がんサバイバーシップに関するがん患者・市民およびかかりつけ医を対象とした医療情報の提供に関する研究に従事した。②がん対策総合機構の国民への医療情報提供のあり方を検討するワーキンググループ [] は、毎月第一月曜日 18 時～19 時に Teams による関係者との情報交換を行い、報告書「患者の知る権利の観点から見た医療用医薬品の情報提供と広告規制の制度・運用一日米欧の制度比較を踏まえて」を取りまとめた。令和 8 年 2 月 26 日(木)に厚生労働省の迫井正深医務技監に報告書を手交、同省記者クラブにて記者ブリーフィングを行った。令和 8 年 3 月 13 日(金)に報告書についての報告会を開催し、がん患者団体 22 団体 23 人、がん以外の患者団体 11 団体 13 人、製薬企業 14 企業 26 人、製薬以外の企業 8 企業 8 人の他、東京都、大学、業界団体など 62 団体 77 人が参加した。

(ウ) 革新的医療

核医学診療推進国民会議に [] が副会長として関り、「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2025」では [] を講師の一人として招聘し、核医学診療の患者・市民啓発に寄与した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 31,521 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業:患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを実施。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	11人	がん患者・家族	693人	13,514
	サポート事業:Zoomを活用した「オンラインサポートグループ」を実施。	毎月1回	事務所	6人	がん患者	20人	
	患者交流事業:がん患者の遺族と交流する「とわの会」を実施。	令和7年10月18日	事務所	6人	遺族	11人	
	就労相談事業:患者に対し両立支援を目的にキャリアコンサルタントによる就労相談を希望に応じて対面/オンラインで実施。	随時	事務所	1人	がん患者	7人	
	医療相談事業:患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2人	がん患者・家族	2人	
技術的支援活動事業	リラクセーション事業:患者及び家族に対するヨガの指導を実施。	原則第1・3木曜日	事務所	1人	がん患者・家族	149人	3,404
	リラクセーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施。	原則第3金曜日	事務所	1人	がん患者・家族	39人	
	リラクセーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施。	原則第1・2火曜日	事務所	1人	がん患者・家族	10人	
	リラクセーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導を実施。	原則第1・3月曜日	巣鴨地域文化創造館	4人	がん患者・家族	353人	
	リラクセーション事業:患者及び家族に対する体操の指導の実施。	原則第4月曜日	事務所	1人	がん患者・家族	52人	
	リラクセーション事業:患者及び家族に対する栄養の指導の実施。	令和7年9月3日	チコル・シェアキッチン	3人	がん患者・家族	3人	

普及啓発活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「ジャパン・キャンサーサバイバーズ・デイ 2025」に参画。	令和7年 6月3日	国立がんセンター築地 キャンパス	6人	がん患者 ・家族、 市民	318人 (来場者)	6,728
	広く市民に対するがん啓発を目的としたきずな音楽祭 with 令和7年度豊島区がん対策推進講演会に参画。	令和7年 12月21日	南大塚 ホール	8人	がん患者 ・家族、 市民	240人	
	広く市民に対する ACP 普及を目的とした死生学教育事業「いのちと向き合う4つの扉」セミナー(全4回)を実施。	令和7年 10月18日 10月21日 12月20日 令和8年 1月24日	愛宕区民協働 スペース ・梅上山光明寺	3人	市民	27人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を実施。	令和7年 11月15日	Lstay & grow 南砂町	5人	関東圏の がん専門 相談員	19人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」に参画。	令和8年 2月20日 ~22日	インテックス 大阪	10人	市民	46,000人 (来場者)	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者 ・家族	18人	
	YouTube チャンネル運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	500人	
	ホームページ・SNS 運営	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	10,000人	
	機関紙「News Letter」の発行。	随時	事務所	10人	がん患者 ・家族、 市民	300人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者 ・家族、 市民	1,000人	
	活動報告のための年次報告書の送付。	令和7年 6月	事務所	2人	賛助会員	90人	

調査研究及び 情報交換事業	患者・市民参画に資する人材育成のための「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修 2025」を開催。	令和7年 11月15日 ～16日	Lstay&grow 南砂町	15人	がん患者 ・家族、 市民	201人	7,875
	国立がん研究センター研究開発費「がんサバイバースhipガイドラインの提言と普及・利活用に関する研究」班に参画。	通年	オンライン	2人	がん患者 ・家族、 市民	100万人	
	革新的医療における核医学診療の普及啓発のため核医学診療推進国民会議での情報交換に参画。	通年	オンライン	2人	がん患者 ・家族、 市民	100万人	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
	該当なし				

令和7年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

（単位：円）

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1	受取会費		4,210,000
	正会員受取会費	110,000	
	賛助会員受取会費	4,100,000	
2	受取寄附金		13,745,744
	受取寄附金	13,745,744	
3	受取助成金等		1,478,000
	受取協賛金	950,000	
	受取受託金	186,000	
	受取助成金	342,000	
4	事業収益		938,530
	心理社会的支援活動事業収益	15,000	
	技術的支援活動事業収益	606,300	
	普及啓発活動事業収益	183,800	
	調査研究及び情報交換事業収益	133,430	
5	その他の収益		62,913
	受取利息	52,913	
	雑収入	10,000	
経 常 収 益 計			20,435,187
【B】 経 常 費 用			
1	事業費		
	(1) 人件費		17,500,570
	給料手当	11,200,400	
	特別手当	2,596,000	
	法定福利費	1,588,670	
	中退共保険料	456,000	
	サポーター費用	1,659,500	
	(2) その他経費		14,020,472
	旅費交通費	3,004,590	
	催事費用	200,062	
	広報活動費	2,783,535	
	交際費	3,849	
	通信費	357,035	
	消耗品費	445,652	
	事務用品費	197,198	
	会議費	4,075	
	家賃	4,300,560	
	水道光熱費	216,250	
	リース料	398,112	
	会場使用料	1,239,135	
	支払手数料	796,213	
	雑費	17,094	
	減価償却費	57,112	
事業費計			31,521,042
2	管理費		
	(1) 人件費		3,034,725
	給料手当	1,375,399	
	特別手当	136,000	
	法定福利費	128,792	
	福利厚生費	86,400	
	退職金	1,296,134	
	中退共保険料	12,000	
	(2) その他経費		880,310
	旅費交通費	135,320	
	通信費	4,840	
	租税公課	200	
	消耗品費	42,832	
	事務用品費	97,923	
	会議費	14,682	
	保険料	28,950	
	家賃	477,840	
	水道光熱費	24,028	
	リース料	44,235	
	支払手数料	7,260	
	諸会費	2,200	
管理費計			3,915,035
経 常 費 用 計			35,436,077
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			-15,000,890

【C】	経常外収益		
	固定資産売却益	0	
	過年度損益修正益	0	
経常外	収益計		0
【D】	経常外費用		
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	過年度損益修正損	0	
経常外	費用計		0
当期	経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前	当期正味財産増減額①＋②・・・③		-15,000,890
	法人税、住民税及び事業税・・・④		
	前期繰越正味財産額・・・⑤		34,612,561
次期	繰越正味財産額③－④＋⑤		19,611,671

令和 7 年度 貸借対照表

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

科	目	金 額	小計・合計
【A】	資 産 の 部		
1	流動資産		
	現金預金	18,955,912	18,955,912
	流動資産合計・・・①		18,955,912
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産 工具器具備品	110,117	110,117
	(2) 無形固定資産 電話加入権	42,840	42,840
	(3) 投資その他の資産 敷金	726,800	726,800
	固定資産合計・・・②		879,757
【A】	資 産 合 計 ①+②		19,835,669
【B-1】	負 債 の 部		
1	流動負債		
	預り金	223,998	223,998
	流動負債合計・・・③		223,998
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負 債 合 計 ③+④		223,998
【B-2】	正 味 財 産 の 部		
	前期繰越正味財産額	34,612,561	
	当期正味財産増減額	-15,000,890	
	正 味 財 産 合 計		19,611,671
【B】	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】+【B-2】		19,835,669

令和7年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は定額法によっています。

(3) 引当金の計上基準

該当なし

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動報告書に計上しています。

また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	心理社会的 支援活動事業	技術的支援 活動事業	普及啓発 活動事業	調査研究及び 情報交換事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	110,000	110,000
正会員会費							
賛助会員会費	1,845,000	369,000	738,000	738,000	3,690,000	410,000	4,100,000
2. 受取寄附金	6,010,585	1,202,117	2,404,234	2,754,234	12,371,170	1,374,574	13,745,744
3. 受取協賛金				950,000	950,000	0	950,000
受取受託金			186,000		186,000	0	186,000
受取助成金			342,000		342,000	0	342,000
4. 事業収益	15,000	606,300	183,800	133,430	938,530	0	938,530
5. その他の収益	4,500	900	1,800	1,800	9,000	53,913	62,913
経常収益計	7,875,085	2,178,317	3,855,834	4,577,464	18,486,700	1,948,487	20,435,187
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	5,600,200	1,120,040	2,240,080	2,240,080	11,200,400	1,375,399	12,575,799
特別手当	1,298,000	259,600	519,200	519,200	2,596,000	136,000	2,732,000
法定福利費	794,335	158,867	317,734	317,734	1,588,670	128,792	1,717,462
福利厚生費					0	86,400	86,400
退職金					0	1,296,134	1,296,134
中退共保険料	228,000	45,600	91,200	91,200	456,000	12,000	468,000
サポーター費用	902,500	717,000	40,000	0	1,659,500	0	1,659,500
人件費計	8,823,035	2,301,107	3,208,214	3,168,214	17,500,570	3,034,725	20,535,295
(2) その他経費							
旅費交通費	1,237,510	401,422	566,204	799,454	3,004,590	135,320	3,139,910
広報活動費用	56,760		837,800	1,888,975	2,783,535	0	2,783,535
交際接待費	3,849				3,849	0	3,849
催事費用			200,062		200,062	0	200,062
通信費	172,019	34,404	81,805	68,808	357,035	4,840	361,875
租税公課					0	200	200
消耗品費	164,248	140,273	65,919	75,212	445,652	42,832	488,484
事務用品費	96,399	19,280	42,960	38,560	197,198	97,923	295,121
保険料					0	28,950	28,950
会議費	4,075				4,075	14,682	18,757
諸会費					0	2,200	2,200
家賃	2,150,280	430,056	860,112	860,112	4,300,560	477,840	4,778,400
水道光熱費	108,125	21,625	43,250	43,250	216,250	24,028	240,278
リース料	199,056	39,811	79,622	79,622	398,112	44,235	442,347
会場使用料	418,095			821,040	1,239,135	0	1,239,135
支払手数料	51,680	10,336	713,526	20,672	796,213	7,260	803,473
雑費			17,094		17,094	0	17,094
減価償却費	28,556	5,711	11,422	11,422	57,112	0	57,112
その他経費計	4,690,652	1,102,918	3,519,776	4,707,127	14,020,472	880,310	14,900,782
経常費用計	13,513,687	3,404,025	6,727,990	7,875,341	31,521,042	3,915,035	35,436,077
当期経常増減額	-5,638,602	-1,225,708	-2,872,156	-3,297,877	-13,034,342	-1,966,548	-15,000,890

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は19,611,671円ですが、そのうち294,200円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は19,317,471円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
調査研究及び情報交換事業 協賛金	1,176,200	350,000	1,232,000	294,200	翌期に使用予定の調査研究及び情報交換 事業の活動資金
合計	1,176,200	350,000	1,232,000	294,200	

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	167,229			167,229	△ 57,112	110,117
無形固定資産						
電話加入権	42,840			42,840		42,840
投資その他の資産						
敷金	562,800	164,000		726,800		726,800
合計	772,869	164,000	0	936,869	△ 57,112	879,757

6. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計 上された金額	内役員及び 近親者との
(活動計算書)		
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法
 - ・収入に関して、年間登録料、賛助会費及び寄付金については使用割合によって、事業費(90%)、管理費(10%)に按分した。さらに事業費について心理社会的支援活動事業(50%)、技術的支援活動事業(10%)、普及啓発活動事業(20%)、調査研究及び情報交換事業(20%)に按分した。なお、収入のうち正会員費については100%管理費とした。
 - ・支出に関して、事業部門に直接関係する経費はその事業部門に配賦し、共通については以下の基準で按分した。地代家賃水道光熱費、リース料については、建物面積比によって事業費(90%)、管理費(10%)に按分した。また事業内の人件費及び共通の経費については、使用割合によって心理社会的支援活動事業(50%)、技術的支援活動事業(10%)、普及啓発活動事業(20%)、調査研究及び情報交換事業(20%)に按分した。
- その他の事業に係る資産の状況
該当なし

令和 7 年度 財産目録

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

科	目	金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	111,783		
	みずほ銀行 普通預金 赤坂支店	2,864,631		
	みずほ銀行 普通預金 神谷町支店	897,527		
	三井住友銀行 普通預金 赤坂支店	6,946,678		
	三菱UFJ銀行 普通預金 虎ノ門支店	7,934,785		
	郵便振替口座	200,508	18,955,912	
	流動資産合計・・・①			18,955,912
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	工具器具備品			
	空気清浄機	1		
	ノートパソコン	1		
	パソコン	1		
	WEBカメラ	45,214		
	外部用ノートパソコン	64,900	110,117	
	(2) 無形固定資産			
	電話加入権			
	虎ノ門ガーデン事務所	42,840	42,840	
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	虎ノ門ガーデン事務所	726,800	726,800	
	固定資産合計・・・②			879,757
【A】 資 産 合 計 ①+②				19,835,669
【B-1】 負 債 の 部				
1	流動負債			
	預り金		223,998	
	源泉徴収税	71,093		
	社会保険料	115,805		
	住民税	37,100		
	流動負債合計・・・③			223,998
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	0
【B-1】 負 債 合 計 ③+④				223,998
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】-【B-1】				19,611,671

1

令和7年度年間役員名簿（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒ 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒ 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	アヅミ タカキ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		渥美 隆之			
2	○理事・監事	エンドウ キミサ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		遠藤 公久			
3	○理事・監事	タカ ヨシヒデ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田中 義英			
4	○理事・監事	ナカガミ ユリコ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中神 百合子			
5	○理事・監事	オハラ ヒデモリ		令和7年4月1日 ～ 令和7年5月15日	年 月 日 ～ 年 月 日
		奥原 秀盛			
6	○理事・監事	カタヤマ カズヒロ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		片山 和宏			
7	○理事・監事	ウチヤマ ユミ		令和7年6月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		内山 由美			
8	理事・○監事	キヨノ ヨシオ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		清野 吉雄			
9	理事・○監事	マツムラ ユキオ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松村 行雄			
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

	氏 名	
1	渥 美 隆 之	
2	片 山 和 宏	
3	田 中 義 英	
4	遠 藤 公 久	
5	中 神 百 合 子	
6	大 井 賢 一	
7	田 中 マ ュ ミ	
8	佐 藤 衣	
9	内 山 由 美	
10	松 村 行 雄	
11		
12		